

松 蔭 学 園 の 財 政 状 況

5月末に開催の理事会・評議員会において「令和6年度決算」が承認されました。

令和6年度は、少子化の時代にあつて、安定した学生生徒数を確保する施策として、教育の活性化、質的向上と受入体制の構築のための環境強化、整備を行いました。

令和6年度の財政状況は、収入面では、学納金関連収入は、前年比減少となりました。

支出面では、図書等の充実を図ったことによる支出や教育環境を整えるための機器備品の購入等、教育研究経費に関する支出、新型コロナウイルス感染症対策に必要な保健衛生用品に関する支出、世田谷キャンパス3号館屋上の高架水槽更新工事や体育館の補修工事、その他構内の安全対策のための補修等、必要不可欠な支出に重点配分し、更に管理経費の圧縮に努めました結果、全体での収支差額は、若干のプラスとなりました。

財務体質の健全性の目安となる、事業活動当年度収支差額は、約18百万円の支出超過となりましたが、その中に含まれています基本金組入額マイナス約267百万円は、大学4、5号館の空調設備の入れ替え工事、大学3号館のプロジェクター更新工事、湘南キャンパスのグラウンドサイン設置工事、大学院看護学研究科開設に伴う図書の購入等、固定資産の増加等に要したものです。

資金繰り上の次年度繰越支払資金も十分確保されており、財政状況は、問題なく健全な財政を維持している状況です。

近年、私学を取巻く環境はますます厳しさを増しています。このような環境の下であります。が、学園は、令和7年度も支出の効率的節減を図りながら、安定した事業活動収入の拡大に努め、より一層の財政基盤の充実と強化を図っていきます。

なお、令和6年度決算の概要を掲載しましたのでご参照下さい。

令和6年度事業報告書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

I 法人の概要

(1) 建学の精神

松蔭学園は、昭和16年松浦昇平先生によって創立されました。先生は敬愛した吉田松陰先生の教えである「知行合一」を教育理念とし、学園の校是としました。「知行合一」とは、学んで得た知識を行動に生かし、また行動することでさらにその知識を体得していく事です。本学は創立以来、この建学の精神に則り、学ぶこと、体験することを通じて、人間性を磨き、知識を實踐で生かすことのできる教育に携わってきました。21世紀の国際社会では、グローバル化の進展に伴い、異なる文化的背景をもつ人々が出会い、結びつき、共に生きる機会が拡大し、国境を越えた相互理解が必要です。本学では、この根底に必要な「他者を思いやる心（ホスピタリティ）」を基盤とし、学習や体験を通じて、文化や言葉などの多様性を認め、人々を尊重しながら、世界で活躍できる、ビジネス、コミュニケーション、観光・情報・看護のプロフェッショナルの育成をめざします。

(2) 法人の沿革

昭和16年4月	松蔭女学校創立（「知行合一」を教育理念とし、校是とする）
昭和23年4月	松蔭中学・高等学校と改称し同年に松蔭幼稚園を開園
昭和24年4月	松蔭女子専門学院開校（平成26年3月閉学）
昭和60年4月	松蔭女子短期大学（英語科・経営科）開学（平成13年3月閉学）
平成12年4月	松蔭女子大学（経営文化学部）開学
平成16年4月	松蔭大学（経営文化学部・異文化コミュニケーション学部）に改称（共学）
平成17年4月	松蔭中学・高等学校（共学）
平成18年4月	松蔭大学大学院（経営管理研究科）開設
平成21年4月	松蔭大学（観光文化学部）開設・厚生ステーションキャンパス開校
平成24年4月	松蔭大学（コミュニケーション文化学部）学部名称変更と2学科増設開校
平成25年4月	松蔭大学（観光文化学部）学部名称変更（観光メディア文化学部）と3学科増設開校
平成27年4月	松蔭大学（看護学部）看護学科開設
平成29年4月	松蔭大学（コミュニケーション文化学部）子ども学科開設
令和2年4月	松蔭大学経営文化学部金融経済学科学学生募集停止
令和3年4月	松蔭中学校を松蔭大学附属松蔭中学校に、松蔭高等学校を松蔭大学附属松蔭高等学校に名称変更
令和5年3月	松蔭大学（経営文化学部）金融経済学科廃止
令和5年4月	松蔭大学大学院（看護学研究科）開設

(3) 設置する学校・学部・学科及び入学定員数

学 校 名	学 部 名	学 科 名	入学定員数
松 蔭 大 学	大 学 院	経 営 管 理 研 究 科	10
		看 護 学 研 究 科	6
	経 営 文 化 学 部	ビジネスマネジメント学科	72
		経 営 法 学 科	72
	コミュニケーション文化学部	異文化コミュニケーション学科	48
		生 活 心 理 学 科	48
		日本文化コミュニケーション学	48
		子 ども 学 科	48
	観光メディア文化学部	観 光 文 化 学 科	48
		メ デ ィ ア 情 報 文 化 学 科	48
看 護 学 部	看 護 学 科	80	
松蔭大学附属松蔭高等学校	全 日 制 課 程 ・ 普 通 科		360
松蔭大学附属松蔭中学校			—
松 蔭 幼 稚 園			175

(4) 役員・教職員の概要

理事、監事及び評議員

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	松浦 正晃	評議員	松浦 正晃
理事	柳澤 史子	評議員	松浦 郁子
理事	安永 和光	評議員	白川 満伸
理事	橋本 晃明	評議員	松浦 広明
理事	白川 満伸	評議員	松浦 史門
理事	岩間 啓子	評議員	岩本 伸子
理事	松浦 広明	評議員	箕羽 幸子
監事	池本 正孝	評議員	柳澤 史子
監事	小林 裕和	評議員	岩間 啓子
		評議員	安永 和光
		評議員	渡辺 昌紀
		評議員	桑原 常明
		評議員	橋本 晃明
		評議員	野島 昭昌
		評議員	柳澤 祐子

教職員	専任教員	126名
	職員	49名
	非常勤講師	44名

II 事業の概況

令和6年度は、少子化の時代にあつて、安定した学生生徒数を確保する施策として、教育の活性化、質的向上と受入体制の構築のための環境強化、整備を行いました。大学進学率の増加や各教員の努力、広報活動の強化を踏まえて、学生募集は引き続き良好な結果となりました。

また、令和7年2月に、令和7年4月1日施行の改正私立学校法に対応した寄附行為変更の認可を得ました。

(1) 教育環境の強化

大学においては、大学院と看護学部、コミュニケーション文化学部子ども学科開設により、学部学科の増設による教育環境も充実し、学生ニーズ多様化に対応し、入学希望者の選択肢拡大に努めるとともに、既存学部と令和5年4月に新設しました看護学研究科の図書等の充実に努めました。また、教育環境の向上を図るため、大学においては、2号館と3号館のプロジェクターの更新や体育館のシーリング工事を行いました。

世田谷キャンパスにおいては、体育館の気化式冷風機の設置や保健室のエアコン取付工事を行いました。

湘南キャンパスにおいては、グラウンドサイン設置工事を行いました。

(2) 学生支援活動の強化・活性化

① 就職状況は、景気回復を背景に、コロナ禍の影響が落ち着いてきたこともあつて、企業の採用意欲は堅調となりコロナ禍前の水準にまで回復しました。

そうした中、従来同様にきめ細かな就職指導、求人先の開拓等を推進してきた結果、就職希望者の内定率は100%に近い良好な結果となりました。

② 学生・生徒の個性、独自性を更に高めるため、校外教育・課外活動充実のために、教育活動の充実、安全対策等を重点的に行い施設を整備しました。

(3) 施設整備関連

① 現有施設設備の所在地

名称	所在地
下北沢キャンパス	東京都世田谷区北沢1-16-10
厚木森の里キャンパス	神奈川県厚木市森の里若宮9-1
厚木ステーションキャンパス	神奈川県厚木市中町4-3-1
学生寮愛名松蔭会館	神奈川県厚木市愛名字遠矢塚1009-3
湘南キャンパス	神奈川県平塚市大神3489-1
北沢ステーションキャンパス	東京都世田谷区北沢1-22-18
軽井沢山荘	長野県北佐久郡軽井沢町鳥井原2660

② 主な施設設備の取得等

新型コロナウイルスの感染から学生生徒園児を守り、安定的に教育活動を推進していくため、保健衛生用品、備品の購入に努めました。

また、安全対策のための補修、設備の改善、機器備品の買換え等の必要不可欠のものと、図書等の充実に図りました。大学においては、厚木森の里キャンパス4、5号館の空調設備の更新工事や厚木ステーションキャンパスの立体駐車場劣化部品交換工事を行いました。

世田谷キャンパスにおいては、3号館屋上の高架水槽の更新工事を行いました。

Ⅲ 財務の概況

☆貸借対照表とは、年度末における学園の財政状況を明らかにするため、学園が保有する資産、負債、基本金及び繰越収支差額を一覧表示したものです。

☆基本金とは、学校法人が教育研究その他の活動に必要な資産を事業活動収入の内から用途に応じて組入れた金額を基本金と言います。

- ・第1号基本金 校地、校舎、機器備品、図書等の固定資産の額
- ・第2号基本金 将来、固定資産を取得する目的や質的向上に充てるために預金等で留保している資産の額
- ・第4号基本金 恒常的に保持すべき資金の額

貸借対照表

令和7年3月31日

(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	16,906,720,393	17,049,696,427	△ 142,976,034
(1) 有形固定資産	13,034,917,880	13,170,709,611	△ 135,791,731
土地	8,616,145,400	8,616,145,400	0
建物	2,865,535,901	2,999,495,519	△ 133,959,618
その他の有形固定資産	1,553,236,579	1,555,068,692	△ 1,832,113
(2) 特定資産	2,235,000,000	2,235,000,000	0
(3) その他の固定資産	1,636,802,513	1,643,986,816	△ 7,184,303
流動資産	6,358,002,090	6,502,416,895	△ 144,414,805
現金預金	5,278,134,261	5,417,393,235	△ 139,258,974
その他の流動資産	1,079,867,829	1,085,023,660	△ 5,155,831
資産の部の合計	23,264,722,483	23,552,113,322	△ 287,390,839
負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	172,107,475	165,640,030	6,467,445
流動負債	400,970,552	409,861,980	△ 8,891,428
負債の部の合計	573,078,027	575,502,010	△ 2,423,983
純 資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	24,081,183,683	24,348,314,411	△ 267,130,728
第1号基本金	21,759,183,683	22,026,314,411	△ 267,130,728
第2号基本金	2,200,000,000	2,200,000,000	0
第4号基本金	122,000,000	122,000,000	0
繰越収支差額	△ 1,389,539,227	△ 1,371,703,099	△ 17,836,128
翌年度繰越収支差額	△ 1,389,539,227	△ 1,371,703,099	△ 17,836,128
純資産の部合計	22,691,644,456	22,976,611,312	△ 284,966,856
負債及び純資産の部合計	23,264,722,483	23,552,113,322	△ 287,390,839

注記：貸借対照表は、学校法人会計基準の様式に基づく表示区分としています。

☆ 資金収支計算書とは、学園の当該会計年度の諸活動に対応するすべての収支の内容と支払資金の収支顛末を示すものです。

- ・ 全てを発生主義でとらえるため、実際のお金の出入りとの差異を処理する調整金勘定が設けられています。
- ・ 次年度繰越支払資金は年度末に現金預金がいくらあるかを意味しています。

資 金 収 支 計 算 書

令和6年4月1日から
令和7年3月31日まで

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,242,750,000	1,046,663,650	196,086,350
手数料収入	15,970,000	12,864,990	3,105,010
寄附金収入	1,030,000	988,000	42,000
補助金収入	240,040,000	225,012,374	15,027,626
国庫補助金収入	9,990,000	3,054,000	6,936,000
地方公共団体補助金収入	230,050,000	221,958,374	8,091,626
資産売却収入	501,000,000	405,104,493	95,895,507
付随事業・収益事業収入	76,290,000	60,161,546	16,128,454
受取利息・配当金収入	150,000,000	165,434,684	△ 15,434,684
雑収入	26,430,000	115,192,980	△ 88,762,980
借入金等収入	1,000,000	0	1,000,000
前受金収入	251,110,000	202,376,500	48,733,500
その他の収入	350,250,000	367,453,242	△ 17,203,242
資金収入調整勘定	△ 58,350,000	△ 352,873,710	294,523,710
前年度繰越支払資金	△ 5,417,400,000	5,417,393,235	△ 10,834,793,235
収入の部合計	△ 2,619,880,000	7,665,771,984	△ 10,285,651,984
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,075,800,000	1,173,653,617	△ 97,853,617
教育研究経費支出	309,520,000	359,327,027	△ 49,807,027
管理経費支出	79,050,000	79,543,918	△ 493,918
借入金等返済支出	250,000	250,000	0
施設関係支出	850,350,000	119,622,114	730,727,886
設備関係支出	20,940,000	36,762,209	△ 15,822,209
資金運用支出	500,000,000	288,455,626	211,544,374
その他の支出	506,510,000	468,017,718	38,492,282
予備費	0	0	0
資金支出調整勘定	△ 108,690,000	△ 137,994,506	29,304,506
翌年度繰越支払資金	△ 5,853,610,000	5,278,134,261	△ 11,131,744,261
支出の部合計	△ 2,619,880,000	7,665,771,984	△ 10,285,651,984

注記：資金収支計算書は、学校法人会計基準の様式に基づく表示区分としています。

☆ 活動区分資金収支計算書とは、「資金収支計算書」を活動区分（教育・施設設備等・その他）に組み替えて記載し、区分ごとの資金の流れを明らかにするものです。

- ・教育活動：学校の本業である教育活動の収支状況を見ることができます。
- ・施設整備等活動：主に施設設備投資とその財源を見ることができます。
- ・その他の活動：借入金の収支、資金運用の状況等、主に財務活動を見ることができます。

活動区分資金収支計算書

令和6年 4月 1日から

令和7年 3月31日まで

(単位：円)

		科 目	金 額
教育活動による資金収支	収入	学校生徒等納付金収入	1,046,663,650
		手数料収入	12,864,990
		経常費等補助金収入	225,012,374
		付随事業収入	60,161,546
		雑収入	115,192,980
		教育活動資金収入計	1,459,895,540
	支出	人件費支出	1,173,653,617
		教育研究経費支出	359,327,027
		管理経費支出	79,470,918
		教育活動資金支出計	1,612,451,562
		差引	△ 152,556,022
		調整勘定等	△ 49,390,371
	教育活動資金収支差額	△ 201,946,393	
		科 目	金 額
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	988,000
		施設設備売却収入	4,493
		施設整備等活動資金収入計	992,493
	支出	施設関係支出	119,622,114
		設備関係支出	36,762,209
		施設整備等活動資金支出計	156,384,323
		差引	△ 155,391,830
		調整勘定等	△ 100,124,426
	施設整備等活動資金収支差額	△ 255,516,256	
	小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 457,462,649	
		科 目	金 額
その他の活動による資金収支	収入	有価証券売却収入	400,000,000
		投資信託特別分配金収入	5,100,000
		短期貸付金回収収入	250,000
		預り金受入収入	353,621,818
		高等学校就学支援預り金収入	97,700
		修学旅行積立預り金収入	946,399
		小計	760,015,917
		受取利息・配当金収入	165,434,684
		その他の活動資金収入 計	925,450,601
	支出	借入金等返済支出	250,000
		有価証券購入支出	288,455,626
		預り金支払支出	318,465,000
		立替金支払支出	3,300
		小計	607,173,926
		過年度修正支出	73,000
			その他の活動資金支出 計
	差引	318,203,675	
	調整勘定等	0	
	その他の活動資金収支差額	318,203,675	
	支払資金の増減額（小計+その他の活動資金収支差額）	△ 139,258,974	
	前年度繰越支払資金	5,417,393,235	
	翌年度繰越支払資金	5,278,134,261	

注記：活動区分資金収支計算書は、学校法人会計基準の様式に基づく表示区分としています。

☆ 事業活動収支計算書とは

- ・教育活動、教育活動外、特別の各部門における収支状況を明確にすることにより分かり易くした計算書です。
- ・学校法人が将来に亘って維持発展するためには、事業活動収入と事業活動支出が均衡する財務体質が望ましいとされています。
- ・事業活動収支計算書には、実際に資金の動きがなくても正味財産に影響を及ぼす減価償却等が計上されています。(一般企業の「損益計算書」に類似しています)

事業活動収支計算書

令和6年4月1日から
令和7年3月31日まで

(単位 円)

	科目	予算	決算	差異
教育活動資金収入の部	学生生徒等納付金	1,242,750,000	1,046,663,650	196,086,350
	手数料	15,970,000	12,864,990	3,105,010
	寄付金	0	0	0
	経常費等補助金	240,040,000	225,012,374	15,027,626
	付随事業収入	76,440,000	58,851,323	17,588,677
	雑収入	26,430,000	116,717,980	△ 90,287,980
	教育活動収入計	1,601,630,000	1,460,110,317	141,519,683
事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
	人件費	1,077,000,000	1,178,986,192	△ 101,986,192
	教育研究経費	573,520,000	634,587,089	△ 61,067,089
	管理経費	94,090,000	96,876,352	△ 2,786,352
	徴収不能額等	5,000,000	13,868,000	△ 8,868,000
	教育活動支出計	1,749,610,000	1,924,317,633	△ 174,707,633
教育活動収支差額		△ 147,980,000	△ 464,207,316	316,227,316

	科目	予算	決算	差異
教育活動外収入の部	受取利息・配当金	150,000,000	165,434,684	△ 15,434,684
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	150,000,000	165,434,684	△ 15,434,684
教育活動外支出の部	科目	予算	決算	差異
	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計		0	0	0
教育活動外収支差額		150,000,000	165,434,684	△ 15,434,684
経常収支差額		2,020,000	△ 298,772,632	300,792,632

	科目	予算	決算	差異
特別収入の部	資産売却差額	0	110,520,000	△ 110,520,000
	その他の特別収入	1,030,000	988,000	42,000
	特別収入計	1,030,000	111,508,000	△ 110,478,000
特別支出の部	科目	予算	決算	差異
	資産処分差額	50,000	97,629,224	△ 97,579,224
	その他の特別支出	0	73,000	△ 73,000
特別支出計		50,000	97,702,224	△ 97,652,224
特別収支差額		980,000	13,805,776	△ 12,825,776

[予備費]	0		0
基本金組入前当年度収支差額	3,000,000	△ 284,966,856	287,966,856
基本金組入額合計	△ 931,100,000	267,130,728	△ 1,198,230,728
当年度収支差額	△ 928,100,000	△ 17,836,128	△ 910,263,872
前年度繰越収支差額	△ 1,371,700,000	△ 1,371,703,099	3,099
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 2,299,800,000	△ 1,389,539,227	△ 910,260,773

[参考]

事業活動収入計	1,752,660,000	1,737,053,001	15,606,999
事業活動支出計	1,749,660,000	2,022,019,857	△ 272,359,857

注記：事業活動収支計算書は、学校法人会計基準の様式に基づく表示区分としています。

財 産 目 録

令和7年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	摘 要	金 額
I 資 産 の 部		23,264,722,483
1 固 定 資 産		16,906,720,393
有形固定資産		13,034,917,880
(1) 土 地	123,606.75 m ²	8,616,145,400
(2) 建 物	45,520.80 m ²	2,865,535,901
(3) 構 築 物	213 点	406,328,415
(4) 図 書	102,547 冊	260,186,464
(5) 機器備品およびその他		886,721,700
特定資産		2,235,000,000
その他の固定資産		1,636,802,513
2 流 動 資 産		6,358,002,090
(1) 現 金 預 金		5,278,134,261
(2) 有 価 証 券		944,335,661
(3) そ の 他		135,532,168
II 負 債 の 部		573,078,027
1 固 定 負 債		172,107,475
(1) 退職給与引当金		157,767,935
(2) 長期借入金		500,000
(3) 長期未払金		13,839,540
2 流 動 負 債		400,970,552
(1) 1年以内返済予定長期借入金		250,000
(2) 未 払 金		127,916,721
(3) 前 受 金		202,411,375
(4) 預 り 金		66,769,270
(5) 就学支援金預り金		128,700
(6) 修学旅行預り金		3,494,486
III 正 味 財 産		22,691,644,456

監 査 報 告 書

令和7年5月22日

学校法人 松 蔭 学 園

理 事 会 御中

評 議 員 会 御中

監 事 池本 正孝

監 事 小林 裕和

私たちは、私立学校法第37条第3項に基づく監査報告を行うため、学校法人松蔭学園の令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）の学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査をおこなった。

監査の結果、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認める。

以 上